

動物診療助手第3回認定試験問題

問 1.次の中から受付業務として間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.来院者にアイコンタクトを取り、笑顔で挨拶する。
- 2.飼育者との会話に相槌を打ちながら、和やかな雰囲気会話できるように心がける。
- 3.飼育者の心情にあった言葉遣いで語尾をはっきりとさせるように心がける。
- 4.飼育者の話を聞いている際はメモを取らず、会話が終わってから記憶していたことをメモ書きする。
- 5.身だしなみには十分に注意して、マニキュアやピアスはしないようにする。

正解 4.

受付業務は、動物病院において来院者と最初に接する業務です。来院者に好意的な印象を与えるために笑顔で挨拶することが重要です。来院者の発言を間違いなく聞いていることを示すために相槌を打つや復唱したりして会話するように努めます。言葉遣いに注意して、不安感を与えないように語尾をはっきりと会話します。必要があればメモを取り、間違いがないようにします。身だしなみ、化粧や装飾品は控えめにして派手な印象とならないように注意します。

問 2.次の中から飼育者とコミュニケーションを取るときの間違いを1つ選びなさい。

- 1.眼の高さは、飼育者の眼の高さか低くなるように心がける。
- 2.長い髪はまとめて、自然な髪色にする。
- 3.動物診療助手として相応しい服装、姿勢、態度となるように心がける。
- 4.言葉遣いは、飼育者の年齢や態度に合わせて変えるように心がける。
- 5.香水等の使用は避けて、薄化粧を心がける。

正解 4.

飼育者に待合室で説明等をするときは、飼育者に椅子に腰掛けてもらい飼育者の眼の高さよりも視線を低くして話しかける。服装等は、派手にならず、薄化粧で香水の使用は避けて、飼育者に不快な印象を与える態度はとらないで、飼育者によって態度等を変えない。

問 3.次の中から受付における電話対応で正しい対応を1つ選びなさい。

- 1.飼育者からの電話は、どのような状況であっても獣医師に取り次がなければならない。
- 2.電話の相手側を不安にさせないため、わからないことでも返答する。
- 3.内容が聞き取れないときは、何回でも聞き直して相手側を不快にさせてもよい。
- 4.分からないことがあれば、電話を保留にして獣医師等の指示を仰ぐ。
- 5.保留時間が長くなってもよいので、調べるのに長時間かけてもよい。

正解 4.

電話対応は相手側が見えないために反応が分からず注意が必要である。呼び出し音が鳴ったら2コール以内に出るように心がける。相手側の確認、用件を聞いて、自分での対応ができるか取り次ぎをする必要があるかを判断する。聞き取りにくいときに何度も聞き直すことをしないで、こちらから質問して相手側に返答してもらい判断する。わからないことは適当に返答しないで、保留にして獣医師等に指示を仰ぐが、長時間の保留にならないように注意して、返答するときに「お待たせしました」と言って返答する。

問 4.次の中から短足が特徴の品種を1つ選びなさい。

- 1.デボンレックス
- 2.ラグドール
- 3.ドンスコイ
- 4.マンチカン
- 5.ラパーマ

正解 4.

デボンレックス：大きな耳と目、クサビ形の小さな顔が特徴の小型猫、活発で好奇心旺盛な性格と縮れ毛からプードルキャットの異称



ラグドール：長毛、青い瞳の大型猫、人懐っこい性格、ラグドールはぬいぐるみ人形の意味



ドンスコイ：ロシア原産の無毛の猫、大きく立った耳、クサビ形の顔



マンチカン：短足、丸みのある顔、人懐っこく甘えん坊の性格



ラパーマ：大きくアーモンド形の目、カールしたパーマヘア



問 5.次の中から予防注射証明書を作成するときに間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.飼育者氏名・住所を間違いなく記入する。
- 2.動物種・動物名・年齢を確認して間違いなく記入する。
- 3.接種年月日・予防注射の種類を間違いなく記入する。
- 4.分からないところは空欄にする。
- 5.接種動物病院名・獣医師名を間違いなく記入する。

正解 4.

予防注射証明書・狂犬病注射済証を作成するときは、接種した個体が識別できるように飼育者氏名・住所・動物品種・動物名・年齢・性別等を正しく必ず記載する。接種したワクチンの種類、接種日、接種獣医師名等も必ず記載する。記載事項に未記載の空欄があると証明書として有効とならない。

問 6.次の中から診療簿（カルテ）の記述についての注意で正しいものを1つ選びなさい。

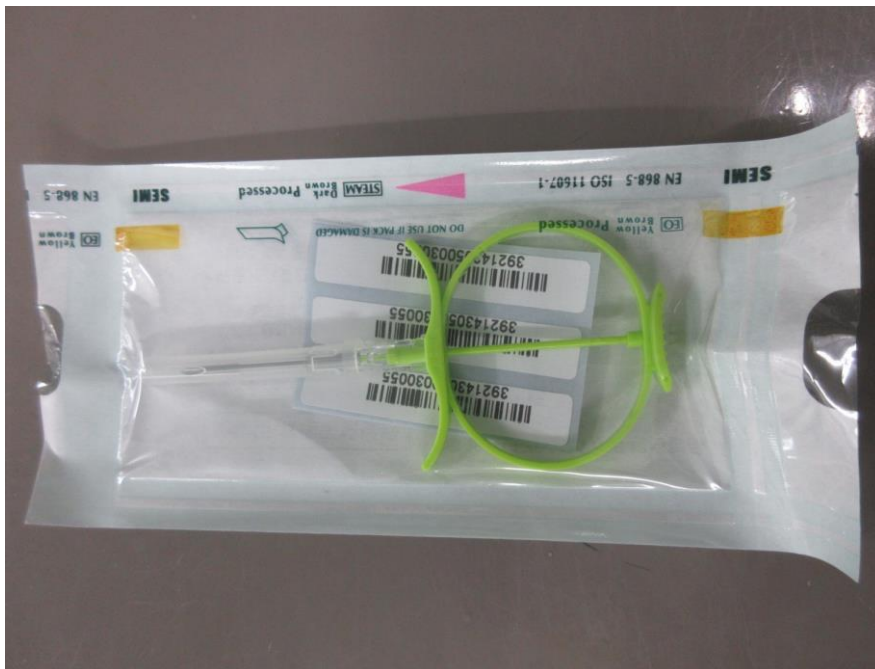
- 1.診療簿の内容を SNS 等で発信する。
- 2.診療後に診療簿は破棄する。
- 3.修正液を使用しないで診療簿の内容を修正する。
- 4.診療簿は限られたスタッフしか見ないので乱雑に記入してもよい。
- 5.修正をしやすいように診療簿は鉛筆で記入する。

正解 3.

カルテは改ざんが行われていないことを証明するために鉛筆や消せるボールペンでは記載しないで、修正には修正液等を使用しない。第三者が見ても判別できるように乱雑には記載しない。カルテ内容は個人情報となるために外部への発信を行わない。カルテは獣医療法の

規定によって3年以上の保管義務がある。

問7.写真の器具の名称を次の中から1つ選びなさい。



- 1.骨髄穿刺針
- 2.マイクロチップインジェクター
- 3.留置針
- 4.生検用トレパン
- 5.翼付静注針

正解2.



1.骨髄穿刺針



2.マイクロチップインジェクター



問 8.次の中から狂犬病予防法によって狂犬病予防注射の接種対象なる犬の年齢を 1 つ選びなさい。

- 1.生後 14 日以上
- 2.生後 31 日以上
- 3.生後 61 日以上
- 4.生後 91 日以上
- 5.生後 121 日以上

正解 4.

狂犬病予防法第 5 条犬の所有者は、狂犬病の予防注射を毎年一回受けさせなければならない。狂犬病予防法施行規則第 11 条生後 91 日以上の犬の所有者は、狂犬病の予防注射を受けさせなければならない。と規定されている。

問 9.次の中から犬糸状虫について間違っているものを 1 つ選びなさい。

- 1.犬糸状虫は、一般的にフィラリアという名称で知られている線虫類である。
- 2.成虫は、肺動脈から右心室の血管内に寄生する。
- 3.成虫の体長は、20～30 cmである。
- 4.中間宿主の蚊が感染犬を吸血するときにマイクロフィラリア (L1) が蚊に吸引される。
- 5.蚊が犬を吸血するときに第 2 期幼虫 (L2) が犬の皮膚から侵入する。

正解 5.

犬糸状虫は線虫類の寄生虫でフィラリアと呼ばれている。成虫は体長 20～30 cm と大型で右心室に寄生し、仔虫であるマイクロフィラリア(L1)を産む。マイクロフィラリア(L1)は血管内を血液と共に循環して、蚊の吸血によって蚊に吸引され、蚊の腹部にあるマルピギー管で 2 回脱皮し感染仔虫(L3)となり、蚊の唾液腺に移動する。感染仔虫(L3)は蚊の吸血時に皮膚から犬の体内に侵入して、犬の体内を移動しながら成長し、肺動脈から右心室で成虫となる。

問 10.次の中から動物用医薬品であるノミ・マダニ駆除剤に関して正しい記述を 1 つ選びな

さい。

- 1.犬・猫を同伴しない購入希望者に販売する。
- 2.製品の包装を開けてはいけない。
- 3.待合室に製品を陳列して飼育者が選べるようにする。
- 4.犬・猫を診療して駆除剤を処方する。
- 5.駆除剤の価格を広告する。

正解 4.

動物病院では、通常、動物用医薬品を処方して使用している。動物用医薬品を販売するためには、医薬品、医療機器の安全性、有効性に関する法律において薬剤師・登録販売員を管理者として店舗販売業の許可を受ける必要があると規定されている。処方であるため、診療により診断することが必要であり、無診療処方は禁止されているので、犬猫を診療することが必要である。処方であるので獣医師が自らの処方に対して調剤することは認められているので、調剤行為となる包装を開けて必要な製剤を調剤することは問題ない。待合室に陳列することは陳列販売となるので、販売をできない動物病院で行うことはできません。処方であるため、飼育者が製品を選択することはできません。駆除剤の価格を広告する行為は、診療の料金を広告することとなり、獣医療法の広告できる項目ではないために価格の広告はできません。

問 11.次の中から犬・猫の保定について間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.攻撃的な動物は、薬物による鎮静を行うこともある。
- 2.動物・獣医師・飼育者だけでなく保定者の安全を確保するように保定する。
- 3.動物種・年齢・性格・処置等に配慮して保定方法を考える。
- 4.動物の負担を少なく、素早く処置ができるように保定する。
- 5.保定は、素早く処置を行うために動物を力任せに抑える。

正解 5.

診療において犬猫を保定する目的は、動物への負担を最小限にして、適切な診療を素早く行うことです。動物の安全だけでなく、保定者・処置を行う獣医師・飼育者等の安全を確保することが必要であり、そのためにどのような保定を行うかを考慮しなければなりません。攻撃的・暴れる動物を力任せに抑えつけるのではなく、必要であれば鎮静剤等を使用することも必要です。

問 12.次の中から最も長い注射針を1つ選びなさい。



正解 5.

注射針の太さは G (ゲージ)、長さは" (インチ) で表示されている。ゲージは数字が大きいほど注射針は細くなり、インチは数字が大きいほど長くなる。写真の注射針は 19G が最も太く 26G が最も細く、1/2" が最も短く 1 1/2" が最も長い。

問 13. 次のの中から気管チューブを気管に挿入するときに使用する器具を 1 つ選びなさい。



正解 1.

1. 喉頭鏡、2. タオル鉗子、3. 持針器(把針器)、4. 剪刀 5. 膾鏡

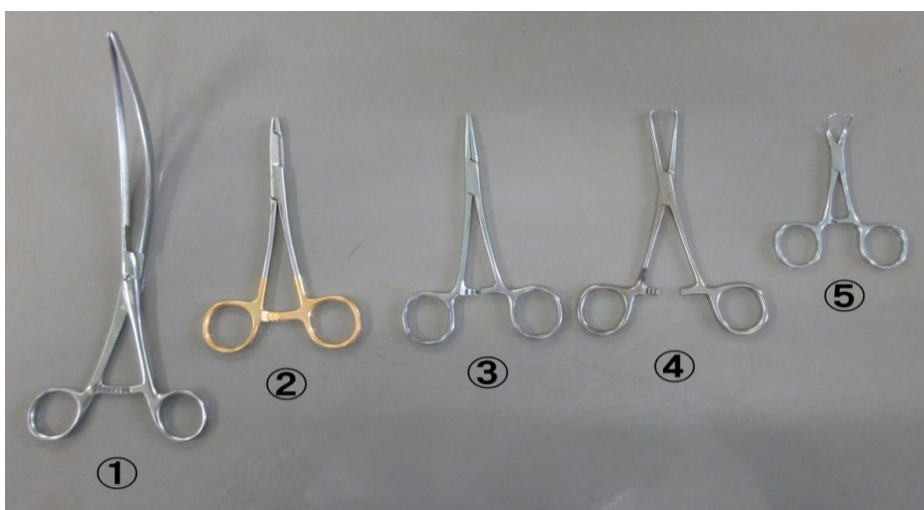
問 14.次の中から滅菌・消毒に関して間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.滅菌は、物理的・化学的な方法で微生物を死滅または完全に除去して無菌状態を作るとをいう。
- 2.消毒は、物理的・化学的な方法で微生物を数的に減少させることをいう。
- 3.高圧蒸気滅菌は、121°C15分、115°C20分等の高圧高温で微生物を死滅させる。
- 4.ポピドンヨードは、皮膚障害が強いために生体に使用することは禁忌である。
- 5.煮沸消毒では微生物の完全な除去はできない。

正解 4.

物理的・化学的に微生物を除去することを滅菌・消毒と呼ぶが、抵抗性の強い芽胞まで除去して無菌状態とすることを滅菌、芽胞の除去はできないのが消毒である。滅菌には、高圧蒸気滅菌器（オートクレーブ）によって121°C15分や115°C10分という高温で滅菌する、エチレンオキシドガス等を使用して滅菌を行うガス滅菌等がある。消毒には、沸騰したお湯の中で100°C20分による煮沸消毒、アルコール・ポピドンヨード等皮膚への障害が少ない薬剤を使用する消毒等がある。

問 15.次の中から腸鉗子を1つ選びなさい。



正解 1.

- 1.腸鉗子、2.持針器(把針器)、3.止血鉗子、4.アリス鉗子、5.タオル鉗子

問 16.次の中から高圧蒸気滅菌できないものを1つ選びなさい。

- 1.縫合針
- 2.布製ガウン
- 3.鑷子

- 4.腸鉗子
- 5.気管チューブ

正解 5.

高圧蒸気滅菌は高圧蒸気滅菌器（オートクレーブ）を使用して行う。釜の中で水を蒸発させて蒸気を作り、体積の増加によって高圧高温となる。100℃以上の高温によって芽胞を形成する細菌であっても死滅させることができるが、100℃以上で溶けたり変形したりするものに使用することはできない。

問 17.次の中から消化器系ではない器官を1つ選びなさい。

- 1.口腔
- 2.食道
- 3.胃
- 4.大腸
- 5.子宮

正解 5.

消化器系とは、食物の消化吸収を行う器官である。狭義の消化器系は、食物を粉砕して摂取する口腔、食物を胃に送る食道、食物を胃液によって溶解する胃、消化液である膵液・胆汁を分泌して吸収を行う小腸、主に水分の吸収を行う大腸、糞便を形成して肛門から排泄する直腸となり、広義には膵液を産生する膵臓、胆汁を産生する肝胆系を消化器系とすることもある。

問 18.次の中から循環器系の疾患ではないものを1つ選びなさい。

- 1.僧帽弁閉鎖不全症
- 2.心内膜炎
- 3.動脈管開存症
- 4.膿胸
- 5.心室中隔欠損症

正解 4.

循環器系は心臓血管系であり、動脈管開存症と心室中隔欠損症は先天性心疾患、心内膜炎は心臓の感染症、僧帽弁閉鎖不全症は心臓弁膜症の一種である。

問 19.次の中から感染性医療廃棄物に分別されないものを1つ選びなさい。

- 1.注射針

- 2.採血に用いたシリンジ
- 3.ワクチン接種に用いたシリンジ
- 4.ワクチン空バイアル
- 5.ビタミン剤空アンプル

正解 5.

廃棄物の処理及び清掃に関する法律において特別管理産業廃棄物に分類される感染性医療廃棄物は、人の健康又は生活環境に係る被害を生ずるおそれがある性状を有するもので、注射針やメス刃等の先端が鋭利なもの、血液が付着しているもの、ワクチン等の生物学的製剤に係るもの等である。

問 20.次の中から医療廃棄物に関して間違った記述を1つ選びなさい。

- 1.動物病院から排出される廃棄物は産業廃棄物であり、特に感染性医療廃棄物は特別管理産業廃棄物に分類され、運搬・処理には厳しい規制がある。
- 2.感染性医療廃棄物は、バイオハザードマークが付いた専用容器に分別する。
- 3.動物病院が排出する書類類等の事務系廃棄物も医療廃棄物に分別する。
- 4.医療廃棄物の運搬・処理を委託する場合は、許可を受けた業者に委託し、運搬・処理が適切に完了したことを報告する産業廃棄物管理票（マニフェスト）を必ず受け取り、産業廃棄物管理票は5年間保存する。
- 5.医療廃棄物の運搬・処理を委託した業者が不法投棄した場合、動物病院にも排出者責任がある。

正解 3.

事業所である動物病院から排出される廃棄物は産業廃棄物となる。産業廃棄物の中でも人への感染性等の被害が生ずるおそれがあるものを特別管理産業廃棄物としてバイオハザードマークが付いた専用容器に分別し、許可を受けた運搬・処理業者に運搬・処理を委託する。委託した業者からは産業廃棄物管理票（マニフェスト）を受け取り、業者から適切に運搬・処理された後に運搬・処理終了のマニフェストが送られてくるので5年間保管する。運搬・処理を委託した業者が不法投棄等を行った場合には、業者のみの責任だけでなく、廃棄物を排出した動物病院の責任も問われる。

問 21.次の中から写真の器械の名称を1つ選びなさい。



- 1.自動血球計測器
- 2.輸液ポンプ
- 3.超音波診断装置
- 4.分包機
- 5.近赤外線治療器

正解 4.

1.自動血球計測器



2.輸液ポンプ



3.超音波診断装置



4.分包機



5.近赤外線治療器



問 22.次の中から 2tabs bid po 10days と処方箋に記載されている場合の薬剤量・投与経路を1つ選びなさい。

- 1.1 回1錠1日2回10日分経口投与
- 2.1 回2錠1日2回10日分経口投与
- 3.1 回2カプセル1日2回10日分経口投与
- 4.1 回2錠1日2回10日分皮下投与
- 5.1 回2錠1日3回10日分皮下投与

正解 2.

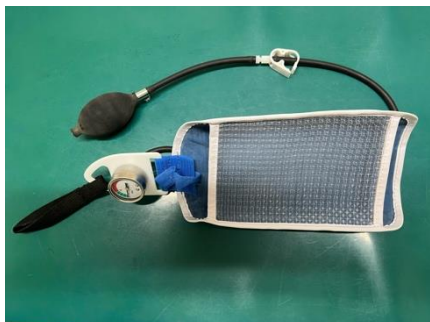
2tabs は1回の投与量で2錠、1カプセルであれば 1cap、1包であれば 1ps

bid は1日の投与回数で1日2回、1日1回であれば sid、1日3回であれば tid

po は投与方法で経口投与、静脈注射であれば iv、皮下注射であれば sc、筋肉注射であれば im

10days は処方日数で10日分

問 23.次の中から写真の器具の名称を1つ選びなさい。



- 1. 血圧計
- 2. 輸液バック
- 3. 加温バック
- 4. 加圧バック
- 5 アンビューバック

正解 4.



1. 血圧計



2. 輸液バック



3. 加温バック



4.加圧バック



5.アンビューバック

問 24.次の中から消化管内寄生虫ではないものを1つ選びなさい。

- 1.回虫
- 2.鉤虫
- 3.ジアルジア
- 4.アカラス (毛包虫)
- 5.コクシジウム

正解 4.

消化管内に寄生する主な寄生虫は、線虫類では回虫、鉤虫、鞭虫等、条虫類では瓜実条虫、マンソン裂頭条虫等、原虫類ではコクシジウム、ジアルジア、トリコモナス等である。アカラス (毛包虫)、疥癬等は皮膚寄生虫である。

問 25.次の中から病理組織検査のための組織固定液として使用するものを1つ選びなさい。

- 1.生理食塩液
- 2.リンゲル液
- 3.ホルマリン液
- 4.クロルヘキシジン液
- 5.ポピドンヨード液

正解 3.

病理組織検査を行うための標本作成において細胞変性を最小限にするために摘出した組織を素早く固定液によって固定する。組織固定液は10%ホルマリン液を使用する。組織が大きく中心部分への固定液の浸透に時間がかかるようであれば、組織に断面を入れて中心まで固定液が早く浸透するようにする。

問 26.次の中から血液中の細胞成分ではないものを1つ選びなさい。

- 1.フィブリン
- 2.リンパ球
- 3.赤血球

4.血小板

5.好中球

正解 1.

血液は赤血球・白血球・血小板という細胞成分と液体成分によって構成されている。細胞成分である白血球には好中球・好酸球・好塩基球・単球・リンパ球があり、フィブリンを含む液体成分が血漿であり、フィブリンを含まない液体成分が血清である。フィブリンは線維素で細胞成分ではない。

問 27.次の中から尿検査の項目ではないものを1つ選びなさい。

1.ブドウ糖

2.潜血

3.pH

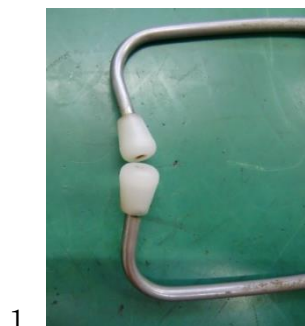
4.比重

5.ヘマトクリット

正解 5.

尿の化学的検査は、尿比重・尿中の潜血・蛋白質・ブドウ糖・ビリルビン・ウロビリノゲン等を行う。ヘマトクリットは血球容積のことで血液中の血球の容積を示しているので血液検査の1項目である。

問 28.次の中からイヤーチップの写真を1つ選びなさい。



正解 1.

1.イヤープース（イヤーチップ）、2.耳管、3.チェストピース、4.ダイアフラム型(膜型)チェストピース、5.ベル型チェストピース

問 29.次の中から聴診器を使用する目的として間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.心音を聞く
- 2.肺の呼吸音を聞く
- 3.胃の音を聞く
- 4.腸の蠕動音を聞く
- 5.胸の動きを聞く

正解 5.

聴診器は音を聞く道具である。心音、肺等の呼吸音、胃の活動音、腸の蠕動音を聴取する。胸の動きは肉眼的に観察する。

問 30.次の中から心拍数の計測方法として間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.心拍数は10秒間の回数を表示する。
- 2.聴診器によって心音を計測する。
- 3.通常は心拍数と脈拍数は一致するので、大腿動脈の拍動数を計測する。
- 4.胸部を触知して心臓の拍動数を計測する。
- 5.10秒間の心拍数・拍動数を計測して6倍する。

正解 1.

心拍数は1分間の回数を表記する。聴診器があれば10秒間の心音を計測して6倍又は15秒間の計測値を4倍すれば1分間の回数となる。聴診器がない場合は、大腿動脈の拍動数、胸部での心臓拍動数を計測する。不整脈がなければ心拍数と大腿動脈の拍動数は一致する。

問 31.次の中から血液塗抹標本を染色するときに必要なものを1つ選びなさい。

- 1.消毒用エタノール
- 2.ライト液
- 3.ギムザ液
- 4.リン酸緩衝液
- 5.メタノール

正解 1.

血液塗抹の染色は、メタノールで固定して、リン酸緩衝液で pH 調整したライト液・ギムザ液で染色する。

問 32.次の中から血液塗抹の染色に使用しない染色法を 1 つ選びなさい。

- 1.ライトギムザ染色
- 2.フルオレセイン染色
- 3.ギムザ染色
- 4.ライト染色
- 5.クイック染色

正解 2.

血液塗抹の染色は、ギムザ染色、ライト染色、ライトギムザ染色、染色キットでのクイック染色等がある。フルオレセイン染色は、角膜の潰瘍・損傷の検査に使用する染色である。

問 33.次の中から血液検査を実施するときの注意として間違っているものを 1 つ選びなさい。

- 1.採血のときは、検査結果が変動する可能性があるので動物を興奮させない。
- 2.白血球数を計測するときは、抗凝固剤として EDTA を使用する。
- 3.血球数を計測するときは血液を十分に静置してから直ぐに血液を使用する。
- 4.塗抹標本は、塗抹面にホコリ等が付着しないようにする。
- 5.スライドガラスは、脱脂処理されたものを使用する。

正解 3.

興奮して暴れる動物からの採血は、リンパ球・好酸球の減少、好中球の増加等のストレスパターンが現れることがあり、適切な検体とはいえない。血球数の計測を行うための血液は血球の形態変化が起こりにくい抗凝固剤である EDTA を混和する。血液を静置しておくとも血球が沈殿するので、血液を十分に混合してから検体として採取する。塗抹標本を作成するスライドガラスは脱脂されたものを用いて、血液を塗抹したら直ぐに風乾してホコリ等が付着しないように注意する。

問 34.次の中から採血した血液の処理として間違っているものを 1 つ選びなさい。

- 1.血液が凝固しないように素早く処理する。
- 2.試験管等に血液を分注するときは、素早く行うために泡立つぐらいに勢いよく分注する。
- 3.血液塗抹用の血液には、凝固しないように EDTA を混ぜる。
- 4.血清分離用には、凝固促進剤と分離剤が入った試験管に血液を分注する。
- 5.血漿分離用には、抗凝固剤と分離剤が入った試験管に血液を分注する。

正解 2.

採血した血液の処理は、凝固しないように素早く行う必要があるが、溶血させないように泡立たせたりしない。

血液塗抹作成用には血球の形態変化が少ない抗凝固剤である EDTA を混入する。

血清分離は、フィブリンが液体成分に入らないよう血液が凝固してから遠心分離するために凝固促進剤と分離剤が入った試験管に分注する。

血漿分離は、抗凝固剤によって血液を凝固させないで遠心分離するので、液体成分にはフィブリンが含まれている。抗凝固剤と分離剤が入った試験管に分注する。

問 35.次の中から犬回虫の感染経路として間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.感染犬の糞便摂取による経口感染
- 2.待機宿主の捕食による経口感染
- 3.経皮感染
- 4.胎盤感染
- 5.乳汁感染

正解 3.

犬回虫は、成熟した虫卵が経口により感染する。幼虫が体内移行していて待機宿主となっているものを捕食することによっても感染する。体内移行中の幼虫が胎盤を経由して胎子に感染、乳汁によって幼虫が新生子に感染することもある。

問 36.次の中から検査対象動物が放射線被曝する検査を1つ選びなさい。

- 1.MRI
- 2.CT
- 3.心エコー検査
- 4.心音図検査
- 5.胃内視鏡検査

正解 2.

放射線被曝は X 線を使用する検査で起こる。MRI は磁気を利用、心エコー検査は超音波を利用、心音図検査は音響的な記録、胃内視鏡検査は内視鏡による視覚的検査である。CT は、Computed Tomography のことで、X 線を利用した検査になる。

問 37.次の中から入院ケージの清掃・管理の注意として間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.入院室の清掃時は、スタッフへの人獣共通感染症の感染防止のため、マスク・手袋を着用する。
- 2.入院室の状態を把握するために、温度・湿度を確認する。
- 3.ケージの清掃の基本は、下から上・手前から奥である。
- 4.入院動物の逃走防止のため、清掃等でケージから入院動物を出すのときは、繋ぎ止めたりクレートに入れる。
- 5.院内感染防止のため、清掃時は個体ごとに使用するタオルを変えたり消毒を行う等の対応をする。

正解 3.

入院室の管理では温度と湿度の管理が重要である。院内感染を防止するために清掃で使用するタオル等はケージごとに変えて消毒を行い、ケージの清掃は上から下、奥から手前が基本となる。ケージから入院動物を出すときには逃走防止のために繋ぎ止めておくかクレートに入れる。人獣共通感染症の疑いがあればスタッフへの感染防止のためにマスク・手袋・フェースガードを使用する。

問 38.次の中から入院動物の管理として間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.入院動物の排泄物を確認して、必要があれば獣医師に検査の指示を仰ぐ。
- 2.入院動物の状態が変化した場合には、直ぐに獣医師へ報告する。
- 3.入院中の緊急なときに備えて飼育者の緊急連絡先を確認する。
- 4.飼育者から食餌の好みを聞いておき、入院中の食餌を獣医師に確認する。
- 5.心肺停止のときは心肺蘇生を行い、反応がなければ獣医師に連絡する。

正解 5.

入院中に緊急連絡が必要なことがあるので飼育者の緊急連絡先を聞いて、家で与えている食餌の嗜好を聞いて獣医師に入院中の食餌管理の指示を受ける。入院動物の排泄物の状態・量等を確認して、変化があれば検査材料として保管し、獣医師に報告して、検査の指示があれば実施する。入院動物の状態変化を直ぐに獣医師に報告し、心肺停止時には獣医師の指示により心肺蘇生を行う。

問 39.犬の熱中症対策として最も有効な方法はエアコンによる室温管理であるが、次の中からエアコン使用の次に有効な方法を1つ選びなさい。

- 1.サークルに入れて扇風機の風をあてる。
- 2.飲水量を増やす。
- 3.缶詰の食餌に変更して、摂取水分量を増やす。
- 4.40℃ぐらいのお風呂に入れる。

5.遮光カーテンで室内に差し込む日差しを防ぐ。

正解 5.

人の熱中症は高温環境で体温が上昇し、体温調節のため発汗量が増加して脱水が起こることで発症するが、犬猫では発汗による体温調節を行っていないので、体温上昇により脳の体温調節中枢に障害が起きて高体温が持続して細胞障害が発生することにより発症する。そのため、人では脱水の補正が重要であるが、犬猫では早急に体温を低下させることが重要であるので、アイスバーを使用しての冷却、場合によっては水風呂に入れる等が必要である。熱中症の予防としては、人では高温環境の改善、脱水の改善のための水分補給が重要であるが、犬猫では高温環境の改善、高体温の改善が重要である。室温が高温とならないようにエアコンの使用、日差しを遮る等が必要であり、扇風機によって風をあてて汗が蒸発するときの気化熱により体温を低下させるようにすることは発汗がないために有効ではない。風をあてるだけではなくミストを併用することで有効な対策となる。

問 40.次の中から食欲廃絶の動物への食餌管理として正しいものを1つ選びなさい。

- 1.栄養摂取は、必ず経口摂取でなければならない。
- 2.入院中の食餌管理は食べるものであれば何を与えてもよい。
- 3.流動食を強制給餌するときは、嘔吐する・嚥下しない場合でも給餌を続ける。
- 4.経口摂取が困難な場合は、経鼻チューブ・栄養カテーテル等による強制給餌を行う。
- 5.カテーテルによる強制給餌のときに流動食が入らない場合、シリンジを強く押し込むことを繰り返す。

正解 4.

食欲が廃絶しているときは、経口摂取にこだわらず輸液による栄養補給を行う。強制給餌は消化器に障害がないときに選択するが、嚥下障害があれば経鼻チューブや栄養カテーテルを使用して強制給餌する。経鼻チューブ・栄養カテーテルを使用して給餌する場合に抵抗があっても流動食が入らないときはカテーテル等の詰まりや適切に挿入されていないので無理に押し込むことは行わずカテーテル等を入れなおす。

入院動物の食餌管理を獣医師の指示により適切な管理を行う。

問 41.次の中から5大栄養素ではないものを1つ選びなさい。

- 1.水
- 2.タンパク質
- 3.炭水化物
- 4.ミネラル
- 5.脂質

正解 1.

五大栄養素は、蛋白質、炭水化物、脂質、ビタミン、ミネラルである。

問 42.次の中から犬猫の嗜好性について間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.犬は甘味を好む
- 2.猫は甘味を感じない
- 3.猫は暖かい食べ物より冷たい食べ物を好む
- 4.犬よりも猫のほうが脂肪の要求量が多い
- 5.犬猫は苦味を嫌う

正解 3.

食餌の嗜好性は、におい・味・食感が影響する。においは、体温近くに温めると増加する。味は舌の味蕾細胞で感知するが、猫は甘味を感じる味蕾細胞がほとんどないので甘味を感じないが、犬は甘味を好む。苦味は犬猫ともに嫌う。食感は水分の含有量で変化する。水分の含有量が多いものを好むが、猫は舌で形状を確認して好む食餌の形状を選び成長期に経験した形状の食餌を好む。食餌の温度は体温に近い温度のものを好む。猫は犬よりも肉食性が強く、脂肪の要求量も多く、犬では必要としない必須アミノ酸としてタウリンが食餌に含まれていることが必要である。

問 43.次の中から人獣共通感染症を1つ選びなさい。

- 1.ジステンパー
- 2.犬アデノウイルス感染症
- 3.犬パルボウイルス感染症
- 4.犬パラインフルエンザ
- 5.レプトスピラ症

正解 5.

人と人以外の脊椎動物の間を伝搬する感染症を人獣共通感染症と呼び、寄生虫症や細菌性食中毒も含める。ウイルス性は、狂犬病、SFTS(重症熱性血小板減少症候群)、高病原性鳥インフルエンザ等、真菌性は、皮膚糸状菌症、クリプトコッカス症、リケッチア性は、Q熱、紅斑熱、クラミジア性は、オウム病、細菌性は、炭疽、結核、ブルセラ症、サルモネラ症、レプトスピラ症、猫ひっかき病等、原虫性は、トキソプラズマ症、アメーバ赤痢等、寄生虫性は、日本住血吸虫症、エキノコックス症、アニサキス症、幼虫移行症、疥癬症等である。

問 44.次の中から交尾排卵動物ではないものを1つ選びなさい。

- 1.犬
- 2.猫
- 3.ウサギ
- 4.フェレット
- 5.ミンク

正解 1.

交尾排卵は、1頭1頭が縄張りや巣穴で単独生活する動物で、雄雌が出会って交尾する機会が限られるために効率良く交尾妊娠するためのシステムである。交尾刺激によって排卵されるので交尾がなければ排卵が行われないうえに発情を繰り返す多発情性となる。単独生活ではなく単発情性の犬は交尾排卵ではない。

問 45.次の中から猫の妊娠期間として適切なものを1つ選びなさい。

- 1.約 2 週間
- 2.約 1 ヶ月
- 3.約 2 ヶ月
- 4.約 3 ヶ月
- 5.約 4 ヶ月

正解 3.

ネコの妊娠期間は約 2 ヶ月である。稀に猫において正常分娩後 1 ヶ月程で再び正常分娩による出産があるが、これは異期複妊娠(過妊娠・過受胎)が起こったことによる。異期複妊娠は、受胎数が少ないときに妊娠中に発情が起こり交尾妊娠することにより日齢の異なる胎児を妊娠することであり、多発情性、多胎動物で発生するため犬では発生しない。卵子が受精能を獲得するまでの間に複数の雄と交尾して複数の雄の胎児を妊娠する同期複妊娠は犬猫共に発生する。

問 46.次の中からウサギに関して間違っているものを1つ選びなさい。

- 1.齧歯目
- 2.常生歯で一生伸びる
- 3.周年繁殖で一年中繁殖が可能
- 4.妊娠期間は約 30 日間
- 5.授乳は一日 1~2 回

正解 1.

ウサギは上顎切歯の舌側に小切歯があり重歯目に分類される。全ての歯が一生伸び続ける

常生歯である。消化管は長く巨大な盲腸が存在するので、腹腔容積が胸腔容積の倍以上となる。繁殖生理は、周年繁殖、交尾排卵、妊娠期間は約 30 日であり、授乳は 1 日 1～2 回程で、生後 30 日程で離乳する。骨格は非常に脆弱であり、耳介が発達して体温調節にも利用されている。

問 47.次の中から身体障害者補助犬法において身体障害者補助犬と規定されているものを 1 つ選びなさい。

- 1.警察犬
- 2.聴導犬
- 3.災害救助犬
- 4.麻薬探知犬
- 5.セラピードッグ

正解 2.

身体障害者補助犬法では、身体障害者補助犬の育成、使用する身体障害者の施設等の利用の円滑化を図り、身体障害者の自立及び社会参加の促進に寄与することが目的となっている。身体障害者補助犬は、盲導犬・介助犬・聴導犬と規定され、厚生労働大臣が指定を受けた訓練事業者が育成し、認定され身体障害者補助犬の表示がされたものである。

問 48.次の中から家畜伝染病予防法において届出伝染病に指定されている犬の感染症を 1 つ選びなさい。

- 1.犬コロナウイルス感染症
- 2.狂犬病
- 3.ブルセラ症
- 4.レプトスピラ症
- 5.犬糸状虫症

正解 4.

家畜伝染病予防法は、家畜の伝染性疾病の発生を予防し、蔓延を防止することにより畜産の振興を図ることを目的としている。牛、豚の口蹄疫、豚の豚熱、鶏、うずらの高病原性鳥インフルエンザ等が家畜伝染病に指定され、牛のアカバネ病、豚の豚丹毒、ウサギの野兔病、犬のレプトスピラ症等が届出伝染病に指定されている。

問 49.次の中から野生動物の診療を許可された動物病院であっても診療ができない野生動物を 1 つ選びなさい。

- 1.ハクビシン

2.ヌートリア

3.タヌキ

4.アオサギ

5.コサギ

正解 2.

野生鳥獣は、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律第 8 条において鳥獣及び鳥類の卵は、捕獲等又は採取等をしてはならない。と規定されているため、動物病院であっても許可なく診療を行うことができない。許可を受けた動物病院であっても、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律において特定外来生物に指定されたものは、第 4 条特定外来生物は、飼養等をしてはならない。の規定によって診療等を行うことはできない。特定外来生物は、アライグマ、ヌートリア、ハリネズミ、キョン等が指定され、要注意外来生物には、ハクビシン等が指定されている。要注意外来生物は、特定外来生物のように生態系への影響が確定していないが注意が必要な外来生物で、状況によっては特定外来生物の指定となる。

問 50.次の中から犬猫の採血を実施できる場合を 1 つ選びなさい。

1. 獣医師の指示による愛玩動物看護師による採血
2. 獣医師の指示がない愛玩動物看護師による採血
3. 獣医師の指示による動物診療助手による採血
4. 獣医師の指示がない動物診療助手による採血
5. 誰が実施してもよい

正解 1.

犬猫からの採血は獣医療行為であり、実施するためには獣医師または愛玩動物看護師の資格が必要である。獣医師は自らの判断によって採血を実施できるが、愛玩動物看護師は愛玩動物看護師法第 1 条第 2 項定義において診療の補助（愛玩動物に対する診療の一環として行われる衛生上の危害を生ずるおそれが少ないとして認められる行為であって、獣医師の指示の下に行われるものをいう。）として採血の実施が認められている。